

令和5年度 みたか学

なぜ三鷹市に国立天文台があるのか？

住民の視点から・天文学者の視点から



空から見た国立天文台 ©国立天文台

全2回

【座学】2024年3月15日(金) 14:00~16:00

会場：三鷹市生涯学習センター ホール
三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ4階

【現地】2024年3月22日(金) 14:00~16:00

会場：国立天文台三鷹キャンパス
三鷹市大沢2-21-1

- 定員：30人 * 申込多数の場合は抽選、三鷹市民優先
- 対象：16歳以上
- 受講料：500円 * 講座当日払い

講師：縣 秀彦（国立天文台准教授）



みなさん、一緒に「みたか学」を極めましょう！

ジブリ美術館、井の頭公園、太宰治、山本有三ほか…などなど。

さまざまな街の魅力とその歴史・その未来。その片隅に国立天文台もぜひ加えさせてください。

●みたか学とは？

なんとなく知っているけど詳しくは知らない。みたかについてのあれこれをこの際きっちり学び、みたかについて考える生涯学習センターの講座シリーズです。



申込方法は裏面へ

【主催・お問合せ】三鷹市生涯学習センター 公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団

【住所】〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ4階 【電話】0422-49-2521

【HP】<https://www.mitakagenki-plaza.jp/shogai/> 【X】@ShogaiMitaka



国立天文台（当時の東京天文台）は今から100年前に麻布飯倉から三鷹に移設されました。三鷹市は国立天文台がある街としても知られていますが、今では夜空を見上げて満天の星空を観ることはできません。このような街なかになぜ天文台があるのか、また、内部ではどのような研究が行われているのか知っていますか？本講座では、1日目に天文台の成り立ちや研究の成果について学び、2日目は実際に天文台を訪れ、現存する歴史的建造物の見学と4D2Uドームシアターの4次元デジタル宇宙ビューワー「Mitaka」が再現する映像を体験します。三鷹から宇宙へ想像の旅にでかけましょう。



国立天文台正門 ©国立天文台

● 講師プロフィール

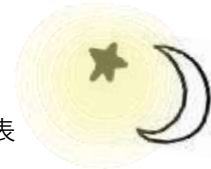
縣 秀彦（あがた ひでひこ）

国際天文学連合（IAU）・国際普及室（OAO）室スーパーバイザー

国立天文台・准教授/ 総合研究大学院大学・准教授、宙ツーリズム推進協議会・代表
東京学芸大学大学院修了（教育学博士）。

「面白くて眠れなくなる天文学」（PHP出版）、「星の王子さまの天文ノート」（河出書房新社）、
「ビジュアル天文学史」（緑書房）など多数の著作物を発表。

NHKラジオ深夜便「ようこそ宇宙へ」、NHK高校講座「地学基礎」に出演中



申込方法（講座申込システム または 往復はがき）



● 講座申込システム <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp/kouza/>

● 往復はがき 1) 講座名、2) 住所、3) 氏名（ふりがな）、4) 年齢、5) 電話番号、
6) どこから情報を得たか、7) 返信用はがきに宛先（住所・氏名）をご記入のうえ、
〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ4階 三鷹市生涯学習センター
『天文台』係までお送りください。

● 申込期間：1月17日（水）～2月19日（月）（必着）

抽選結果の通知・受講料のお支払い方法

● 抽選結果の通知：2月23日（金・祝）（予定）

講座申込システムから申し込まれた方 → 申込時のメールアドレスに抽選結果通知メールが届きます。

往復はがきで申し込まれた方 → 当落にかかわらず、結果を返信はがきで返信します。

● 受講料のお支払い方法

講座当日、受付で現金でお支払いください。

【生涯学習センター 交通案内】

■ 路線バス（小田急バス、京王バス）

三鷹駅、吉祥寺駅、調布駅、武蔵境駅、仙川駅から、
バス停「三鷹市役所前」または、「三鷹農協前」
下車徒歩5分

■ みたかシティバス

北野ルート、新川・中原ルートで
バス停「三鷹中央防災公園・元気創造プラザ（市役所東）」
下車すぐ

